

職場参加ニュース

障害のある人もない人も共に生きる職場・地域を

2015 年度総会・記念シンポジウム

6月28日（日） 総会は13時・シンポは14時



シンポジスト：古川由美子さん（東京都八王子市障害福祉
ドア施設長）、草柳努さん（社福・戸田わかき会事務長）
越谷の団体、コーディネーター：埼玉県障害者支援課
（橋中）コーディネーター：朝日雅也さん（埼玉県立大

2015年度は、10年間運営させていただいた越谷市障害者就労支援事業の受託が5月で終了し、市社協にバトンタッチします。

当会は障害のある人とない人が共に働く街づくりを探るモデル的な試みのために発足した寄り合い所帯です。

市就労支援事業発足に際しても、就労を前提としない地域適応支援事業やピア（仲間）サポートを提案し、受け入れられました。10年間の就労支援の中で多くの課題が浮上しました。最終的には、相談者と一緒に地域へ出て職場開拓を行い、短時間でも就労につなげ現場で相談支援を行うスタイルを編み出し、最多の就労実績と職場定着を達成することができました（詳しくは3ページ）

6月から当会は就労支援利用者の支え合い活動や未就労・離職後の人々の実習・アルバイトの受け入れ職場開拓等の側面的サポートをしてゆきます。

また、福祉施設のほか生活困窮者等さまざまな就労困難者、地場産業等とつながり、グループワークや水辺の市などさまざまな人々が共に働くにぎわいある街づくりにさらに力を入れます。

支援を受けて就労した障害者が職場で孤立する事態をなくしてゆくためにも、当会の活動がさらに重要になっています。定期総会にどうぞご参加を。

問合せ： 世一緒 048-964-1819

shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

定期総会記念：身近な仕事起こしシンポジウム

優先調達・共同受注・中間的就労

—共に働く地域をいかにきりひろくか

6月28日（金）14：00～16：30 越谷市中央市民会館4F

第13～15会議室 会員500円 非会員700円（資料代）

（終了後懇親会を予定しています）

先進自治体報告：自治体と市民の協働・就労支援と施設支援を多角的に試みて
古川 由美子さん（東京都八王子市障害福祉課長）

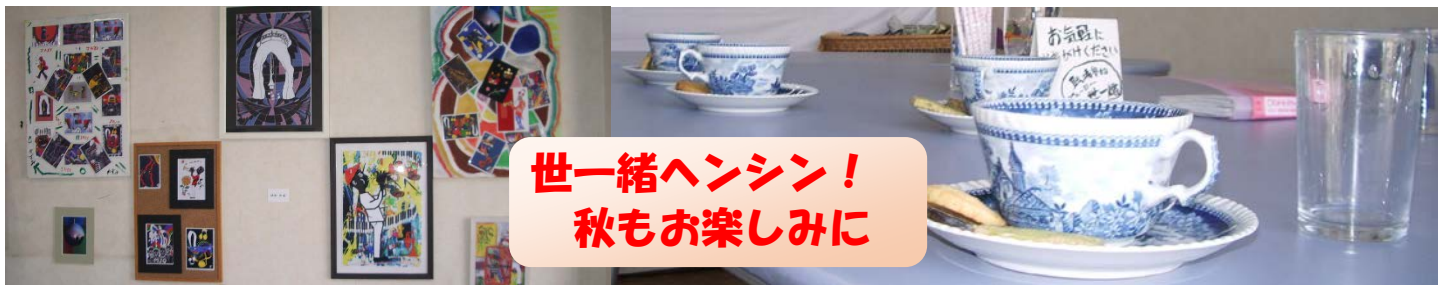
パネルディスカッション：

古川 由美子さん（東京都八王子市障害福祉課長）/竹村 絵里さん（社福・あげお福祉会・グリーンドア施設長）/ 草柳 努さん（社福・戸田わかき会事務長）/
小野 宏さん（NPO法人ワーカーズコープ北関東事業本部エリアマネージャー）/
日吉孝子さん（NPO法人障害者の職場参加をすすめる会） ほかに地元団体

コメンテーター：越谷市障害福祉課副主幹 角屋亮さん

コーディネーター：朝日 雅也さん（埼玉県立大学社会福祉子ども学科教授）





**世一緒ヘンシン!
秋もお楽しみに**

4月の第2週(月~金) 世一緒が画廊喫茶に変身 連日午後ゲストトークショーが開かれました



道端にとつぜん出現した看板



月曜のゲスト小野宏さん(ワーカーズコープ)



火曜のゲストは菊池さん・栗村さん(清掃会社)



水曜のゲストは轟和弘さん(埼玉トヨペット・輪っふる)



木曜のゲストは出村さん他2人(ファミリーリンク越谷) ②



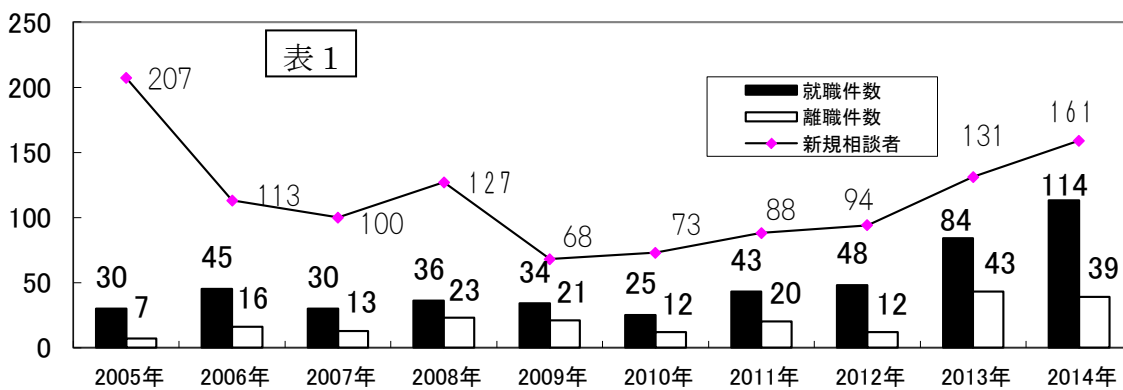
金曜のゲストは絵の作者・坂田和美さん

越谷市障害者就労支援事業の10年一何をどこまでやってきたのか

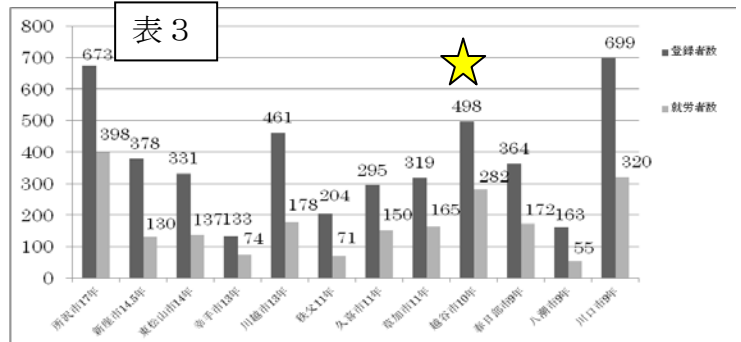
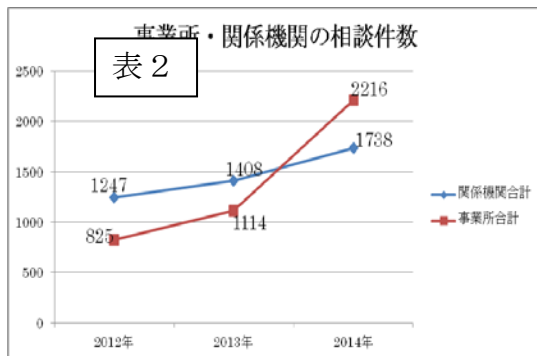
越谷市障害者就労支援センターの10年をグラフでふりかえってみます。まず、開設5～7年目に新規の相談者が最も少なくなりました。就職者数も6年目は最低でした。ただ、これは越谷だけの現象ではなく、職場に就労している利用者が増えその継続就労の支援が増えてくることにより、新規の相談・支援が十分にやりきれなくなるという傾向が、他のセンターでも報告されています。

この傾向に対して、一般には新規相談者個人の特性や能力をきめ細かく判定し、就労の準備が整っていないとみなされる人には福祉施設等での訓練を勧めるなどした上で、直接支援する対象者をしぼるといった対応が考えられます。当センターでも、当初はそうした見極めにより対応しようとしてきました。

でも、越谷市の仕様書では「本人の就労に対する思いや社会での雇用状況の中で本人の自己決定が尊重されるように」、「職場での体験をできるだけ多く取り入れ、障がい者の就労意欲と自己選択能力を高め」、「就労後及び離職後の援助不足があげられており、本業務においては本人や事業所から就労の希望がある限り支援を行う」とあります。そこで、9年目、特に10年目には、職員体制の見直しを抜本的に行い、高齢者・障害者家族・障害当事者を非常勤支援員として多数雇用し、その経験を生かして個々の相談者と共に職場見学、面接、実習等を行いました。カウンター越しの面談でお茶を濁すのではなく地域の職場で共に動きながら評価も併せ行うことで、多様な就労・雇用が実現し、10年目は114名という県内でもトップクラスに入る就職件数を記録しました(表1)。また、地域・職場にどんどん出て行く相談・支援が行われていることが伝わり、関係機関からの紹介も増え、9年目、10年目は、開設の年を除けば過去最大の記録を更新しました(表1)。



事業所(企業)からの相談も急増(表2)。就労者(在職者)数でも県内トップクラスになりました(表3)。以上は就労支援センターの直接の支援についてですが、越谷市の仕様書には他市にない「地域適応支援事業」と「ピアサポートによる就労支援事業」が入っており、これらは就労支援センターの事業ですが、当会本部の独自事業との連携めきにはありえなかったでしょう。




ピアサポートによる就労支援事業についてはいまさら説明不要でしょう。ピアサポートという場合、ピアスタッフを雇用する形と、本人たち自身の自助活動を促進する形があり得ます。センター開設1年目には、前者の形をとりました。センター業務の中で、障害者非常勤職員を日替わりで雇用しました。しかし、事務補助以外の相談・支援業務にどう関わられるか見通しが立てられず、1年で終わりました。それに対して、当会の独自事業である世一緒での自助・共助の活動が積み重ねられ、センター相談者のうち希望者を受け入れてゆくようになりました。

その後、世一緒で取り組んだ「仕事発見ミッション」、「グループワーク」の実績を受け、市の仕様書の業務概要に「地域の事業所訪問活動による職場見学や職場体験」、「福祉施設等と連携を図りながら実施するグループワーク」が、ピアサポートによる就労支援の具体例として書き込まれました。

今年5月末で当会は受託を終わりましたが、越谷ならではの就労支援の地平を、新たな体制の下でもぜひ引き継いでほしいものです。そのためには、センター窓口で自らの意思をわかりやすく表すことが苦手な障害者をエンパワメントするなど、できる限りの協力を惜しまないことをここに表明しておきます。

障害者の職場参加をすすめる会夏のスケジュール

(障害者就労支援センターの受託終了に伴って、新たな活動を準備中です。まだ変更もありうるので、世一精にお問い合わせを！)

6月			7月			8月		
日	行事	ほか	日	行事	ほか	日	行事	ほか
1日(月)			1日(水)	世一緒当番会議	かっぱ午後販売	1日(土)		
2日(火)			2日(木)			2日(日)		
3日(水)	世一緒当番会議	かっぱ午後販売	3日(金)			3日(月)		
4日(木)			4日(土)	どよう世一緒オープン		4日(火)		
5日(金)			5日(日)			5日(水)	世一緒当番会議	画廊喫茶IIプロジェクト
6日(土)			6日(月)	総合県交渉準備会	画廊喫茶IIプロジェクト	6日(木)	新リーフレット企画	
7日(日)			7日(火)			7日(金)	水上公園グループワーク?	
8日(月)			8日(水)	身近な仕事起こし試行		8日(土)		
9日(火)	越谷・水辺の市		9日(木)	新リーフレット企画		9日(日)		
10日(水)		かっぱ狭山茶フェア	10日(金)	総合県交渉準備		10日(月)	介護人養成研修実行委	
11日(木)			11日(土)			11日(火)	越谷・水辺の市	
12日(金)			12日(日)			12日(水)		
13日(土)			13日(月)	介護人養成研修実行委		13日(木)		
14日(日)			14日(火)	越谷・水辺の市		14日(金)		
15日(月)			15日(水)	職場参加を語る会	身近な仕事起こし試行	15日(土)	夏休み	
16日(火)			16日(木)	新リーフレット企画	世一緒deキネマ?	16日(日)		
17日(水)	職場参加を語る会	かっぱ総会	17日(金)	総合県交渉準備		17日(月)		
18日(木)	新リーフレット企画	世一緒deキネマ	18日(土)			18日(火)		
19日(金)	総会準備		19日(日)			19日(水)	職場参加を語る会	ちんどんパレード
20日(土)			20日(月)			20日(木)	新リーフレット企画	
21日(日)		仕事起こし会議	21日(火)			21日(金)	総合県交渉準備	
22日(月)	水上公園グループワーク	定期総会準備会	22日(水)	ピアサポート研究会	身近な仕事起こし試行	22日(土)		
23日(火)	八ヶ岳見学交流ツアー		23日(木)	新リーフレット企画		23日(日)		
24日(水)	ピアサポート研究会	身近な仕事起こし試行	24日(金)	総合県交渉準備		24日(月)	介護人養成研修実行委	
25日(木)	水上公園グループワーク	(予備日)	25日(土)	越谷花火大会夜店		25日(火)	総合県交渉	
26日(金)	総会準備		26日(日)			26日(水)	ピアサポート研究会	身近な仕事起こし試行
27日(土)			27日(月)	介護人養成研修実行委		27日(木)	新リーフレット企画	
28日(日)	定期総会・記念シンポ		28日(火)			28日(金)		
29日(月)	介護人養成研修実行委		29日(水)		身近な仕事起こし試行	29日(土)		
30日(火)			30日(木)	新リーフレット企画		30日(日)		
			31日(金)	共に働く街ばんまよう会	(沖山稚子さん)	31日(月)	総合県交渉	

月1回木曜夜、世一緒での

夕食と映画のつどいにどうぞ

働いている人や明るいうちは外出しづらい人、ふだん世一緒に顔を出せない人もぜひ！月一どこかの木曜 19:00 頃から、軽食付きで映画会を開いています。5月21日(木)はゴジラの第1作(写真)。食事は天丼でした。どなたも参加できます。予め世一緒へお電話を。ちなみに、6月は18日(木)19:00~、「マッドマックス2」。30年ぶりの新作を記念して。



自家農園の豆ですんだまんじゅう

イシザキフーズさんを訪ねて

越谷・水辺の市でお近づきになったイシザキフーズさんは、越谷市船渡の菓子工場の隣で枝豆を作り、それを原料にしたずんだまんじゅうは越谷ブランド認定品。

ほかにもずんだのあんまんや豆乳カステラなど、いろいろな菓子を生産・販売しています。工場の周りには畑や田んぼがいっぱい。石崎さんは、近くの平新川をきれいにする会の代表も務め、地域をよくしようと活動中。水辺の市の出店者会議でも積極的に関わっています。

上の写真は豆畑を案内する石崎社長。



浦和競馬場で障害者施設が共同で

植えた花壇を見てきました

埼玉新聞で報じられた障害者施設5施設で植えた浦和競馬場の場内花壇を視察し(上の写真)、競馬組合のお話もお聞きしました。各施設から利用者3人、職員1人のユニットで2時間働き、職員も含め802円の時給を支給。植えた1500株のうち500株は参加した施設が育てた苗。ここは年1回だが、野田きゆう舎の除草を同じ顔触れで年10回行い、同額を支給しているそうです。同組合の社会貢献活動として実施。



越谷・水辺の市

5月は甲冑祭りともコラボ

越谷・水辺の市は5月3日(祭)に旧宿場の甲冑祭り、久伊豆神社の藤まつりとコラボスタンプラリーの中継点にもなり、さらに仕事こし懇談会の協同祭り in こしがやがウッドデッキで開かれ、盛り上がりました。定例の12日(火)も開催予定でしたが、荒天のため中止。

6月は9日(火)が午前中いっぱい雨で、また中止と残念がっていたところ、昼過ぎから雨が上がったので、態勢がとれた5店舗で市を開き、けっこう売れました。

水辺の市は、他のイベントと異なり、出店する人々自身が主役というスタンスでいろいろ試しながらやっています。生産者も販売業者も初めて店を出す個人も一緒です。上の写真は、5月3日の協同まつりでのNPO法人にじさんぽによる健康体操のようす。



県庁内福祉の店かっぽの

フェスタに参加しました

県庁第2庁舎1Fロビーにある福祉の店アンテナショップかっぽは、県内各地の団体から障害者と支援者のユニットが交替で店番等に入っています。世一緒スタッフも月1回午後、庁舎内訪問販売に加わっています。上の写真は5月20、21両日、県庁みどりの広場で開かれたかっぽフェスタ。生產品等を置いている施設も出店してにぎやかでした。



